

様式第4号その①（第6条関係）

令和8年4月6日

宗像市長 伊豆 美沙子 様
（宗像市議会議長経由）

議員名 井浦 潤也

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和 7 年度政務活動費収支報告書

議員名 井浦 潤也

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	71,540	71,540
資料作成及び資料購入費	74,520	74,520
広報及び広聴費	0	0
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	146,060	146,060

3 残額

117,940 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)
令和7年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目												(単位:円)	
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	「日本教育新聞」	資料作成・資料購入費							33,000						33,000	33,000
2	「日本農業新聞」	資料作成・資料購入費							37,200						37,200	37,200
3	「解放新聞」	資料作成・資料購入費							4,320						4,320	4,320
4	会派視察	調査研究費	71,540												71,540	71,540
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			71,540						74,520						146,060	146,060

研修開催費		
調査研究費	71,540	71,540
資料作成・資料購入費	74,520	74,520
広報及び広聴費		
人件費		
事務所費		
合 計	146,060	146,060

新聞代
1紙目

領収書

発行日 2026 年 3月 31日

井浦 潤也 様

合計金額 ￥49,200 - (税込)

上記、正に領収いたしました。

No.	摘要	数量	単価	金額	備考
1	西日本新聞購読料 (2025年4月~2026年3月)	12	4,100	49,200	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
合 計		12	4,100	49,200	

登録番号 T5290003012455

後藤新聞店

〒811-3430

宗像市平井1-3-6

TEL : (0940) -36-5089

FAX : (0940) -36-7694

登録番号 T303
株式会社 日本
東京都港区白金
白金台ビル2 F
☎ 03-3280-7008 ✉ kodoku@kyoiku-press.co.jp

下記の金額、正に領収いたしました。

¥33,000-

扱者印

< 領收明細 >

支払い方法：自動口座振替

小 計 (税抜)	¥30,000
消費税 10%	¥3,000
合 計 (税込)	¥33,000

備考欄：

No. 005546

領 収 書

井浦潤也

殿

8年 3月 20日

受月	渡日	品名	数量	単価	金額	備考
3	20	日本農業新聞		円	百万 千 円	
		購読料			37200	
合 計 (消費税含む)				金額	百万 千 円	
					737200	
				税込金額	うち消費税額	
※軽減税率対象				10%対象	円	円
				8%対象	37200 円	2755 円

上記の金額確かに領収いたしました。

出資者以外で
取引額が5万円
以上の場合は
印紙貼付

宗像農業協同組合

登録番号 T929000500591

検 印 取扱者

領 収 証

井浦潤也 様

No. _____

金額

¥4320-

但 解放新聞 2025年4月分~2026年3月分

収入印紙

2026年 3月 31日 上記正に領収いたしました

内 訳

現金

小切手

手 形

振込

消費税額等(%)

〒811-3413 福岡県宗像市曲15

部落解放同盟宗像地区協

委員長 竹浦俊

TEL 0940-35-

(様式3)

政務活動費旅費計算書

《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	井浦 潤也	用 件	■各省庁ヒアリング ・国土交通省 治水事業・浸水対策事業 ・子ども家庭庁 児童発達支援事業 ・農林水産省 田んぼダム・ため池の防災対策 ・文部科学省 部活動地域移行 学校給食費無償化 ・厚生労働省 若者の自立支援事業 ■昭和館視察	
日 程	令和8年2月9日～2月11日（3日間）			
用 務 地	東京都千代田区霞が関 各庁舎 東京都千代田区九段南 1-6-1			
交通手段	■公共交通機関 □私用車 □その他（			

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員

井浦 潤也

項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	治水事業・浸水対策事業		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月9日(月)		
時 間	14:00 ~ 15:00	場 所	国土交通省
概 要	●国土交通省（水管理・国土保全局 治水課）より 1. 下水道浸水被害軽減総合事業について 浸水被害の最小化を図るため、貯留浸透施設等のハード対策に加え、関係住民等による自助の取組及び効率的に自助の取組を導くためのソフト対策を組み合わせた総合的な浸水対策を推進するための事業制度で、令和元年に効率的雨水管理支援事業と統合している。 2. 下水道床上浸水対策事業について 駅の周辺地区に代表される浸水被害のリスクが高い都市機能集積地区で、大規模な床上浸水が発生した地区等の浸水被害の防止・軽減を図るため、下水道による浸水対策を計画的・集中的に実施する個別補助制度。 3. 事業間連携下水道事業について 内水浸水の実績がある地区、内水浸水による重要施設の被害が想定される地区の浸水被害の防止・軽減を図るため、河川事業と一体的に行う下水道による浸水対策を計画的・集中的に実施する個別補助制度で、他の補助と重複して補助を受けることができる。 例) 雨水管、雨水貯留管、雨水ポンプの整備など 4. 大規模雨水処理施設整備事業について 計画的な施設整備や適切な機能確保を図るため、雨水処理を担う大規模な下水道施設の設置又は改築事業を計画的に支援する個別補助制度 5. 内水浸水リスクマネジメント推進事業について 内水浸水リスク情報を住民等に的確に伝達し、適切な避難行動を促すために必要となるソフト対策や、事前防災の考え方に基づく浸水対策を計画的に実施するための雨水管理総合計画の策定を支援する事業制度。		
所 感	本市では、令和6年度に「雨に強いまちづくりビジョン」を策定し、20年かけて『市民の生命と財産の確保』、『気候変動の影響を踏まえた事前防災・現在』、『既存ストックを活用した効率的な事業の推進』を基本方針に事業を進めているが、ハード面においては多額の予算が必要となっている。今回の事業説明を受け、国の様々な補助メニューを活用し前倒しで事業が進むことを推進したい。		

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員

井浦 潤也

項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	児童発達支援事業		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月9日(月)		
時 間	16:00 ~ 17:00	場 所	子ども家庭庁
概 要	●こども家庭庁（支援局 障害児支援課）より 1. 地域障害児支援体制強化事業について 令和6年4月に施行された改正児童福祉法を踏まえ、児童発達支援センターが中核的な役割を果たせるよう、機能の強化を行うとともに、地域全体で障害児に提供する支援の質を高め、障害児の支援体制の強化を図る。 ① 児童発達支援センターの機能強化等 ・児童発達支援センターの職員の質の向上 ・地域の事業所の支援技術の向上 ・地域のインクルージョン推進のための事業【拡充】 ・発達に特性のあるこどもと家族のサポートの事業【拡充】 ・地域の支援事業事例検討・質の向上のための研修等事業 ② 巡回支援専門員整備 保育所等に巡回支援を実施し、障害が“気になる段階”から支援を行うための体制整備を図り、発達障害児等の支援の充実、家族への支援を行うとともに、インクルージョンを推進する。 ・巡回等の活動計画の作成 ・巡回等支援 ・戸別訪問等 ・関係機関との連携 ・地域の体制整備への関与 ・専門性の確保 2. 医療的ケア児等総合支援事業について 医療的ケア児や重症心身障害児の地域における受け入れが促進されるよう、地方自治体の体制の整備を行い、医療的ケア児等の地域生活支援を図る。		
所 感	国において、障害福祉サービス関係予算額は18年間で約4倍に増加しており、様々な支援事業等を確認できた。その中で、本市では地域障害児支援体制強化事業の「巡回支援専門員整備」の採択を受けていることから、障害児の支援を含め家族への支援の拡充、インクルージョンの推進がこれまで以上に進んでほしいと願う。また、障害の有無に関わらず、こども達の集まる様々な場（ピアノやダンス等の習い事や塾、スポーツクラブ等）において、合理的配慮の提供の下で障害児を受け入れていく環境整備を整えるためにも、インクルージョン推進員の導入も推進していきたいと考える。		

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員

井浦 潤也

項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	田んぼダム・ため池の防災対策		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月10日(火)		
時 間	10:00 ~ 11:00	場 所	農林水産省
概 要	●農林水産省(農村振興局 整備部 防災課 防災・減災対策室)より 1. 「田んぼダム」について 「田んぼダム」は、「田んぼダム」を実施する地域やその下流の湛水被害リスクを低減するための「取組」で、「施設」ではない。水田に降った雨を貯留する取組で、作物の生産に影響を与えない範囲で行う取組となっている。 「田んぼダム」には、十分な高さ(30cm程度)のある堅固な畦畔や、貯留した雨水を迅速に排水できる落水口、想定する降雨や落水口に合った流出量調整危惧が必要である。 2. 防災重点農業用ため池緊急整備事業について 「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」(ため池工事措置法)に基づき、防災重点農業用ため池のハード対策・ソフト対策を集中的かつ計画的に推進する。ハード対策では、ため池の改修、付帯施設の整備事業費等があり、ソフト対策では、ため池の劣化状況評価、地震・豪雨体制評価、管理・監視体制の強化等がある。		
所 感	本市では、既に「田んぼダム」の取組を実施しているが、全国的な事例を確認することで、「田んぼダム」の効果や営農への悪影響があまりないことを再認識できた。国の補助メニューも継続して活用できることが分かり、本市にとって防災対策に不可欠であり推進していきたい。また、機動的な防災・減災対策において、リスク管理のための監視機器の設置も対象であり、カメラ等の設置も可能であると確認できた。		

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員

井浦 潤也

項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	部活動地域展開及び給食費無償化		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月10日(火)		
時 間	13:00 ~ 14:00	場 所	文部科学省
概 要	●スポーツ庁（地域スポーツ課） 1. 部活動地域展開について 【課題】少子化により学校の規模が小さくなる中、1つの学校単位ではチームスポーツなどが十分に実施できないことや、学校における働き方改革の必要性が高まる中、学校の教師のみに頼る指導体制は維持できないことが挙げられる。 【対策】将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域全体で支える仕組みの構築が必要となる。 【展望】 ・地域クラブ活動における生徒のニーズに応じた多種多様な体験。 ・生徒の個性・得意分野等の尊重。 ・学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出。 ・地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流。 ・適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導。 【国の部活動の地域展開等推進事業の内容】 ・休日の地域クラブ活動の活動等の支援として、指導者への謝金、事務局人件費、旅費、消耗品費等への補助。 ・経済的困窮世帯の生徒への支援として、参加費や保険料の補助。 ・推進体制の整備等として、コーディネーターの配置、人材バンクの設置及び運用費、指導者研修費、移動手段確保等への費用の補助。 ●文部科学省（総合教育政策局 健康教育・食育課） 2. 学校給食費無償化について 【支援対象者の範囲】 今回の取組は給食費の保護者負担の軽減を通じた子育て支援に取り組む自治体への支援であることから、給食を実施する公立小学校（義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部を含む）を支援対象とする。また、給食未実施校に対しては、完全給食実施に向けて必要となる施設整備等について先行的に支援する。 【支援の基準額】支援の基準額（児童一人当たり）について、完全給食実施校については、令和5年実施調査における平均額（約4,700円）に、近年の物価動向を加味し、一人当たり5,200円とする。		

(様式2)

所 感	部活動地域展開については、本市は他市に比べ先行して行っているので、様々な課題を把握しているが、その中でも地域クラブの運営に係る費用も大きな課題となっている。国の補助メニューの詳細を把握できたことで、補助の対象につなげていく必要はあると考える。 給食費無償化については、国の動向を把握することで本市の給食費に係る事業予算の概要を確認することができた。また、エールやホープも補助の対象になることが分かり安心した。
-----	--

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員

井浦 潤也

項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	若者の自立支援事業		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月10日(火)		
時 間	15:30 ~ 17:00	場 所	厚生労働省
概 要	●厚生労働省（社会・援護局 地域福祉課）より 1. ひきこもり支援施策について ひきこもり支援に特化した事業として、全国の340市町村（R7年度）で行われている。 【ひきこもり地域支援センター】 （R7年度47市区町）相談支援、居場所づくり、地域のネットワークづくり、当事者会・家族会の開催、住民への普及啓発等を総合的に実施。 【ひきこもり支援ステーション】 （R7年度129市区町村）相談支援、居場所づくり、地域のネットワークづくり等を一体的に実施。 【ひきこもりサポート事業】 （R7年度164市区町村）ひきこもり支援の導入として、任意の事業を選択して実施。 2. 就労準備支援事業について 長期離職者や対人関係の不安等により、すぐに就職活動をすることが難しく、就労に向けた準備が必要な方の対象の事業で、本人のニーズ・課題に合わせ、日常生活自立、社会生活自立、経済的自立の3つの自立を想定した多様な支援メニューを開発し、通所、合宿等の様々な形態で実施している。 例）グループワーク、農作業体験、職場見学・就労体験 3. 認定就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）について 本人の状況に応じた柔軟な働き方をする必要があると判断された方を対象に、認定を受けた法人が実際の業務を体験させるなど、実践的な訓練を段階的（非雇用型・雇用型）に行うことにより、就労に必要な知識や経験を習得させることを目指す事業。		
所 感	ひきこもり支援に特化した事業が、全国の340市区町村で進められていることを把握できた。先進事例を参考に、今後の就労支援やひきこもり支援につなげていくことは本市とっても重要な課題であると考えます。事例研究をしっかりと行い、事業の展開を考慮したい。		

(様式2)

視察・研究研修会・会議等概要報告書

		宗像市議会議員 井浦 潤也	
項 目	☐ 1 研修開催費 ☒ 2 調査研究費 ☐ 4 広報及び広聴費		
名 称	昭和館		
分 類	☒ 視察 ☐ 研究研修会 ☐ 会議 ☐ 報告会 ☐ その他()		
日 程	令和8年2月11日(水)		
時 間	11:00 ~ 12:00	場 所	昭和館
概 要	昭和館は、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後の国民生活上の労苦に係る歴史的資料や情報を収集・保存・展示し、後世の人々にその労苦を知る機会を提供することを目的として設立された国立の施設である。昭和54年に財団法人日本遺族会から「戦没者遺児記念館（仮称）」建設の要望が出されたことを契機に建設が検討され、平成11年3月に開館した。一般財団法人日本遺族会が厚生労働省から委託を受けて運営している。 【所在地】東京都千代田区九段南1-6-1 【フロア構成】 実物資料だけでなく、写真や映像、音声など様々な角度から当時のくらしを学べるようになっている。 7階・6階（常設展示室）：実物資料により昭和10年頃から終戦（昭和20年8月15日）までの「戦中のくらし」、終戦から昭和30年代頃までの「戦後のくらし」を展示している。 5階（映像・音響室）：写真、映像、SPレコードなどの資料を公開している。 4階（図書室）：戦中・戦後の国民生活に関する図書や、当時発行された雑誌などを所蔵している。 3階（研修室・会議室）：特別企画展の会場としても使用される。 2階（ひろば）：主に写真展などの会場として利用されている。 1階（ニュースシアター・ロビー）：戦中・戦後のニュース映画を上映、資料公開コーナーなど。 【主な事業・活動内容】 展示事業として常設展示のほか、特定のテーマを深掘りする特別企画展や写真展を館内で開催している。また収集した資料のデータベース化や「昭和館デジタルアーカイブ」の運用を行っている。次世代への継承活動として戦後生まれの「次世代の語り部」を育成し、館内での定期講話会や学校への派遣講話を実施している。その他の教育・普及活動として奇数月の紙芝居上演会、小・中学生を対象とした作文コンクール、中学生・高校生対象のポスターコンクール、貸出キットの提供など、若い世代に歴史を伝えるための多様なプログラムを展開している。		

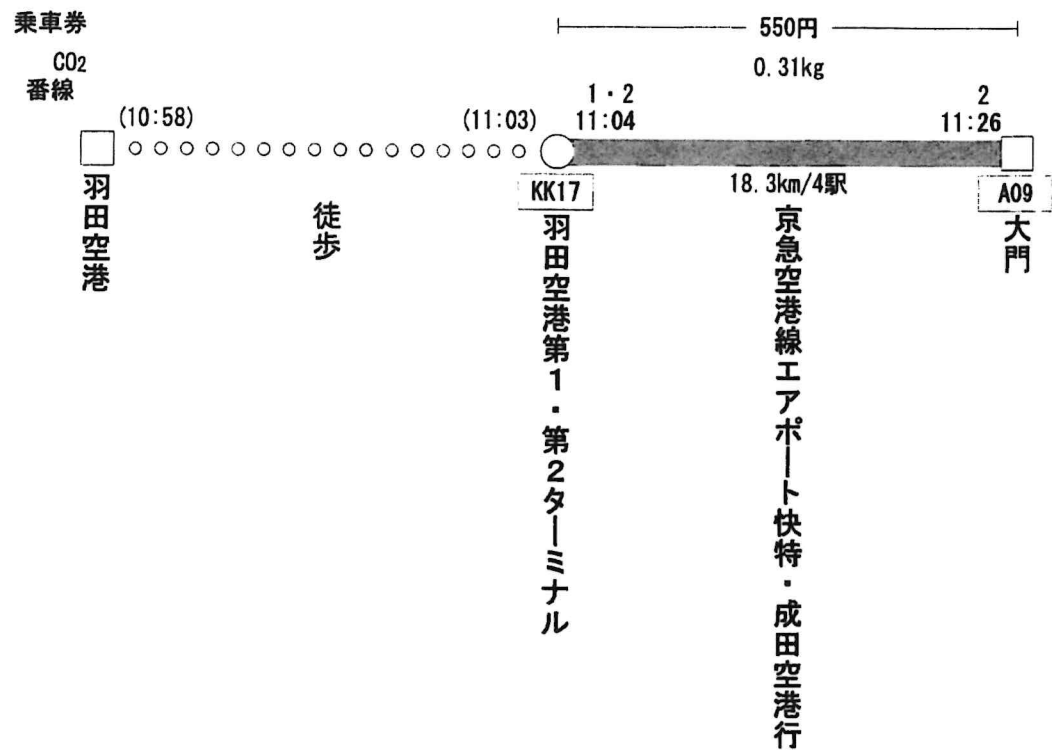
(様式2)

	昭和館 皆川宏 事務局長より昭和館建設の経緯、館内の展示内容、小・中学校の利用状況等について説明を受けた。各展示コーナー、映像、音声資料等の視察を行った。
所 感	昭和館では、戦争の記憶と戦中、戦後のくらしの事実を伝えたいとの姿勢を感じた。戦争を経験していない私たちが、より具体的により真実味を持って戦争のことを知ることのできる施設だと感じた。多くの戦争体験者の言葉には、「二度と戦争を繰り返してはいけない」の意味の重さを改めて心に刻むことができた。

羽田空港 → 大門

探索順 第1/5経路

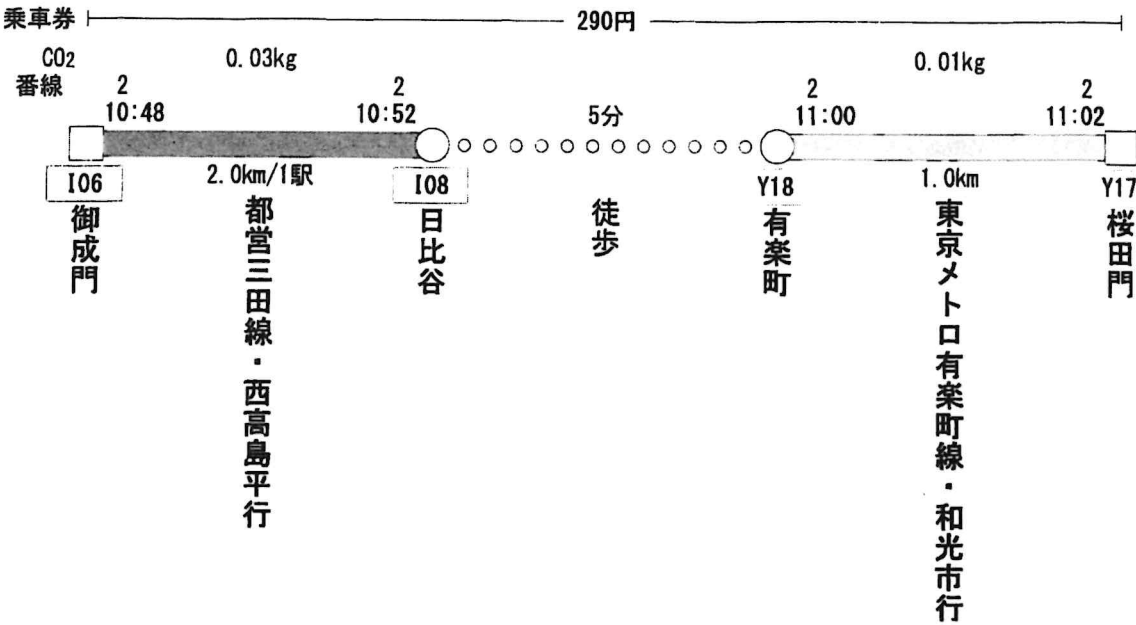
出発日	2026年 2月 9日(月)	乗り換え	0回	距離	18.3km
所要時間	28分 (乗車22分 徒歩5分 他1分)				
片道金額	550円	CO ₂ 排出量	0.31kg (🚗 2.3kg)		



御成門 → 桜田門

探索順 第1/5経路

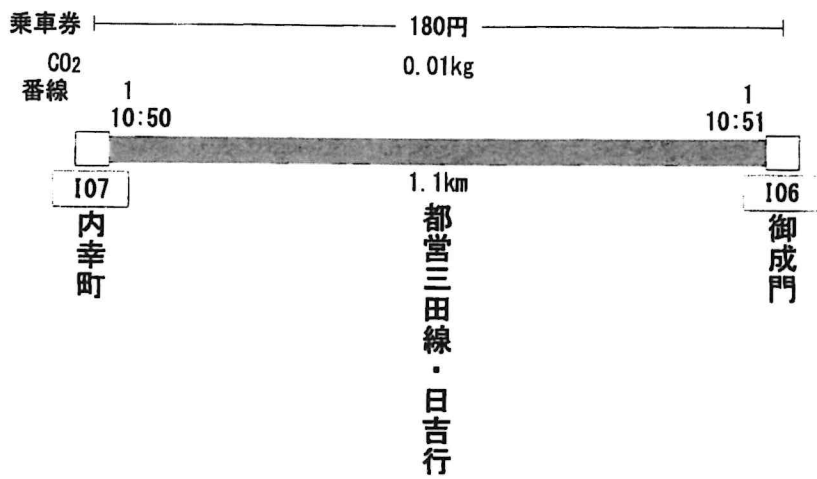
出発日	2026年 2月 9日(月)	乗り換え 1回 距離 3.0km
所要時間	14分 (乗車6分 徒歩5分 他3分)	
片道金額	290円	CO ₂ 排出量 0.05kg (🚗 0.38kg)



内幸町 → 御成門

探索順 第1/5経路

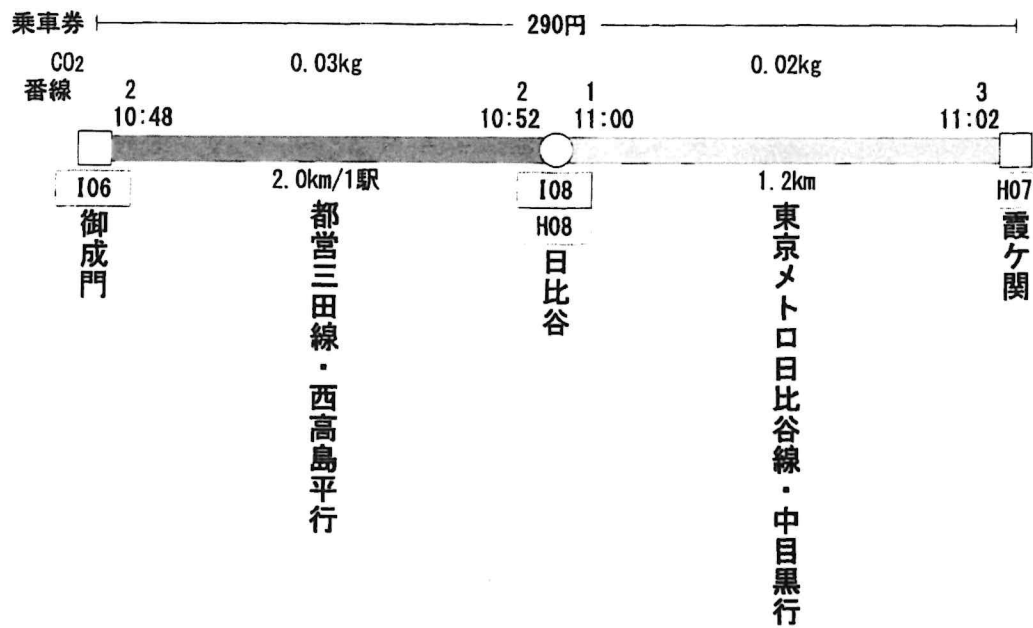
出発日	2026年 2月 9日(月)	乗り換え	0回	距離	1.1km
所要時間	1分				
片道金額	180円	CO ₂ 排出量	0.01kg	( 0.13kg)	



御成門 → 霞ヶ関

探索順 第1/5経路

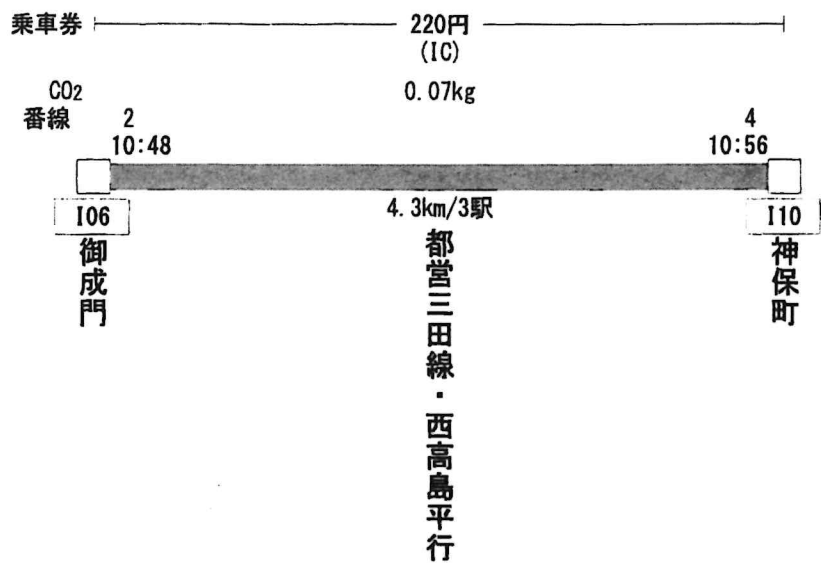
出発日	2026年 2月10日 (火)	乗り換え 1回 距離 3.2km
所要時間	14分 (乗車6分 他8分)	
片道金額	290円	CO ₂ 排出量 0.05kg (🚗 0.40kg)



御成門 → 神保町

探索順 第1/5経路

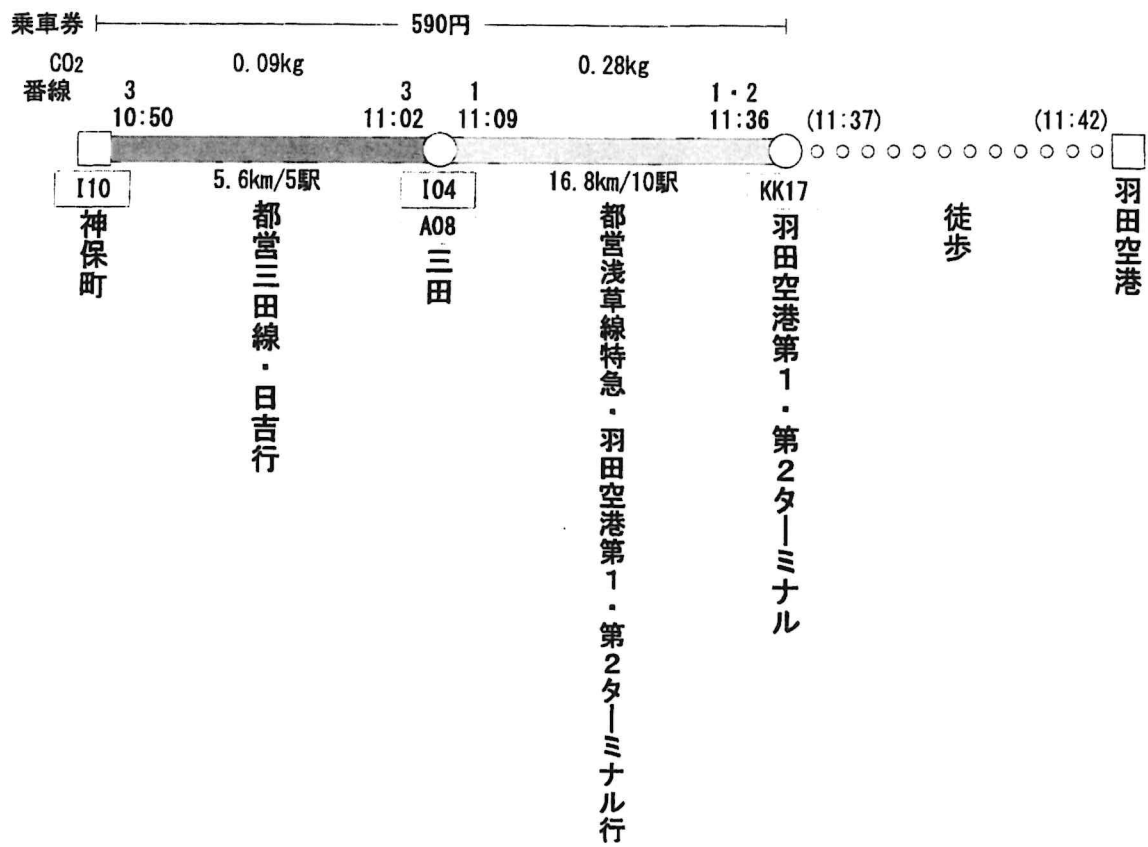
出発日	2026年 2月11日(水)	乗り換え	0回	距離	4.3km
所要時間	8分				
片道金額	220円	CO ₂ 排出量	0.07kg	( 0.54kg)	



神保町 → 羽田空港

探索順 第2/5経路

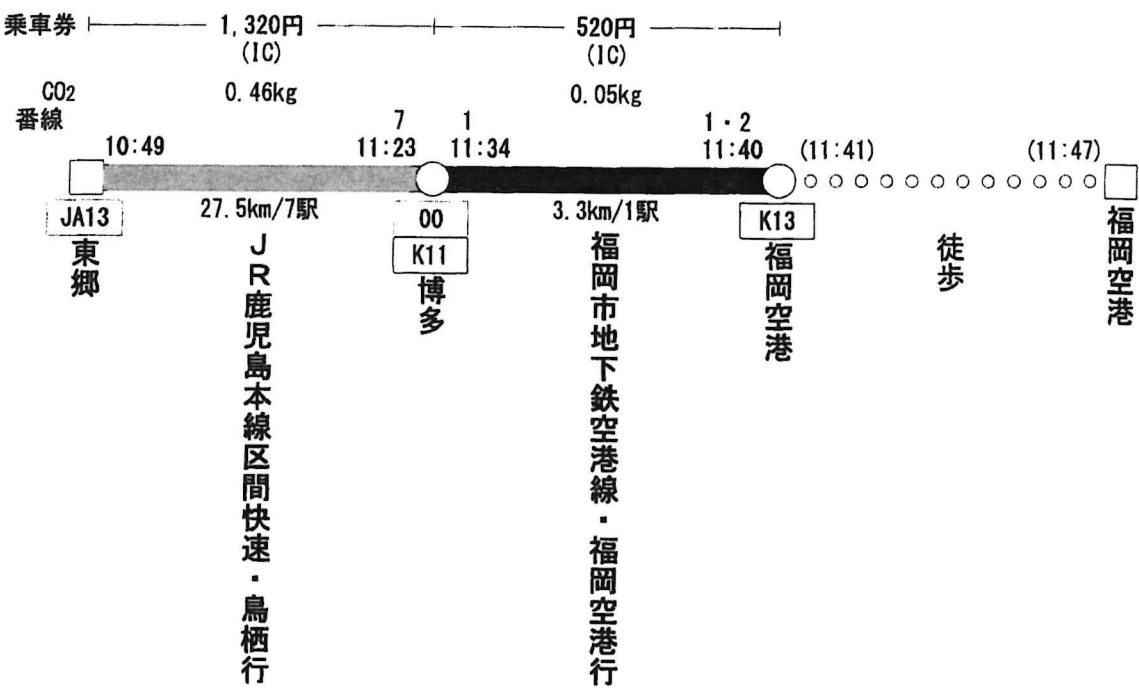
出発日	2026年 2月11日 (水)	乗り換え 1回 距離 22.4km
所要時間	52分 (乗車39分 徒歩5分 他8分)	
片道金額	590円	CO ₂ 排出量 0.38kg (🚗 2.8kg)



東郷 → 福岡空港

探索順 第1/5経路

出発日	2026年 2月 9日(月)	乗り換え 1回	距離 30.8km
所要時間	58分 (乗車40分 徒歩6分 他12分)		
往復金額	1,840円	CO ₂ 排出量	0.52kg (🚗 3.9kg)



宗像市議会 宗像志政クラブ 様

ラド観光株式会社 福岡支店
観光庁長官登録第一種旅行業第1650号
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11
三共福岡ビル4階
TEL (092) 432-1860
FAX (092) 432-1908
担当者: XXXXXXXXXX
携帯: XXXXXXXXXX

☐方面

東京

☐期間

2026年2月09日(月)～11日(水)

☐人員

6名

この度は、見積書提出の機会を賜り厚く御礼申し上げます。
御見積を下記のように提出致しますので、よろしくお願い申し上げます。
※赤字部分は現地払になります。

交 通 費	種別	区間	運賃(料金含む)	人員台数	小計	拝 観 入 場 料	地名・施設名	料金	人員	小計	
	航空券+宿泊(2泊2朝付)	福岡=羽田(往復)	69,000	6	414,000					0	
		都内(2泊2朝付)			0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
					0					0	
交 通 費 計(A)					414,000	拝 観 入 場 料 計(D)				0	
宿 泊 費	月/日()	旅館・ホテル名	条件	料金	人員	小計	そ の 他 費 用	国内旅行傷害保険	500	6	3,000
	2/09(月)	京王プレッソイン浜松町	1泊朝食付・1名一室	0	6	0		有料道路・駐車場(概算)	0	0	0
	2/10(火)	京王プレッソイン浜松町	1泊朝食付・1名一室	0	6	0		添乗員経費(同行しません)	0	0	0
	※東京都ホテル税 1人200円×6人=1,200円					0		乗務員昼食代	0	0	0
						0		取扱手数料	500	6	3,000
						0		そ の 他 費 用 計(E)			
宿 泊 費 計(B)					0	・上記代金は、見積作成日現在で計算されておりますので、運賃料金改定の場合には変更させて頂く場合がございます。 ・ご参加人員が変更された場合には、代金を改定させて頂く場合がございます。 ・交通費及び参観・入場料は、2025年 12月 22日現在の運賃料金を基礎としております。					
食 事 ・ 弁 当	月/日()	場所・施設名	内容	料金	人員	小計	お一人様旅行代金 (6 名様あたり) ご旅行代金総額 (A+B+C+D+E) ¥70,000 ¥420,000				
	2/09(月)~2/11(水)	昼食3回・夕食2回	各自で	0	6	0					
						0					
						0					
						0					
食 事 ・ 弁 当 代 計(C)					0						

※領収書発行金額 交通費69,000円+国内旅行傷害保険500円+取扱手数料500円=70,000円
※東京都ホテル税 1人200円(現地払) 含まず

領 収 書

26年02月12日発行
:04-046801-035

入金日:2026年02月12日

井浦 潤也 様

☐現金 ☐小切手 ☒振込
☐カード ☐コンビニ

金額 ¥70,000.-

上記金額正に領収いたしました
但し、2/9-11 東京視察旅費

10%対象計	¥69,000	内税	¥6,273
8%対象計	¥0	内税	¥0
非課税対象計	¥1,000		



福岡県福岡市博多区博多駅南2-9-11

ラド観光(株)

登録番号: T6120001071915

取扱者印

※金額を訂正したもの、社印なきものは無効とします。